

一般回線用非常通報装置

WhiteLock110A17

取扱説明書



製品をお使いになる前に、本書をお読み下さい

PDF を画面でご覧の方は目次や参照ページをクリックすると該当ページに移動します。
また文章から移動する箇所もあります。

重要事項

本製品は、医療機器、原子力施設機器、航空機器、交通関連機器など、ひとたび事故が起こると生命、財産に関わる重大な損害を与えるおそれのあるシステムには使用しないで下さい。

本製品を組み込んだお客様の製品に起因して発生したいかなる損害に対しても、弊社では一切の責任を負いません。本製品の仕様、デザインなどは改良のため予告なしに変更する事があります。

はじめに（必ずお読み下さい）

この度は、「WhiteLock110A17」をご利用頂きまして、誠にありがとうございます。

本製品は、外部からの入力信号に応じて一般電話回線からEメールで自動通報する装置です。

この「非常通報装置 WhiteLock110A17 取扱説明書」の本文中においては、「WhiteLock110A17」を「WL110A17」と表記させていただいております。あらかじめご了承下さい。

- ご使用には「メール送信システム」へのご登録が必要です。
- ご登録より1年間はシステム料が無料です。2年日以降からシステム料が必要となります。
- NTT仕様で2線式のプッシュ回線またはダイヤル回線(20PPS)、PBX(2線式外線発信回線)、ISDN回線ならTA(ターミナルアダプタ)のアナログポートが利用できます。
- モデムやターミナルアダプタなど、ルーター経由での動作保証は致しかねます。
- ビジネスホン回線、ホームテレホン回線での使用は出来ません。また、これらの回線に接続して通報動作をしますと、WL110A17が故障します。
- WL110A17の誤作動、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損失については、当社は一切その責任をおいかねますので、あらかじめご了承下さい。
- WL110A17お使いになる前に、本書をよくお読み頂き、手順に沿って動作を確認の上ご使用下さい。この説明書は、本製品の側などにいつも手元においてお使いください。
- WL110A17は付属品を含め、改良のため予告なく装置全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承下さい。
- 設定後は本書の説明にしたがって動作確認をしてからお使いください。

製品の最新情報、バージョンアップはインターネットでご確認できます。

製品ホームページ <http://www.adocon.jp/>

*本書に記載されている内容は、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

*本書の内容を無断で転載することは禁止されています。

安全にお使いいただくために

本製品の誤った取り扱いによる事故を未然に防ぐために、本文中に示す「警告マーク」および「注意マーク」の意味を十分理解していただき必ずお守り下さい。

この取扱説明書では動作設定および操作の手順について解説しています。内容をご理解いただいたうえ、正しくご使用くださいますようお願い申し上げます。

警告マーク及び注意マーク表示について



警告

この表示の警告事項を無視して本製品の取り扱いをすると、本製品が誤動作し、人命、身体に関わる死傷事故、財産に対する損害事故が生ずる可能性があります。また、法律違反になる場合があります。

弊社では、この事に起因するいかなる損害に対し一切の責任を負いません。



注意

この表示の注意事項を無視して本製品の誤った取り扱いをしますと、本製品が破損、又は通信不能や誤動作する場合があります。

弊社では、この事に起因するいかなる損害に対し一切の責任を負いません。



警告

本製品は、人命や身体、財産に関わる重大事故の発生するおそれのある設備や機器としての使用や、それらに組み込んで使用しないで下さい。また、それら施設の周辺で使用しないで下さい。

電波による誤動作を引き起こす可能性がある医療機器の近くでは使用しないで下さい。

航空機、原子炉施設などの重要施設等での使用はしないで下さい。

本製品を使用したシステムを設計する場合は誤動作防止、火災発生対策など安全設計をして下さい。

軍事目的（武器、テロ行為）や、軍事関連施設では使用しないで下さい。

本製品は、日本国内仕様となっていますので、海外での使用は出来ません。

本製品を使用するシステム、機器の安全対策を十分に行って下さい。

以下のような環境あるいは、本製品の定格や仕様の範囲を越えた使用はしないで下さい。

- ・本製品は精密機器です。塵・ほこり・水滴等により故障することがあります。
- ・振動や衝撃が加わる場所。高温、低温になる場所や温度差が急激に変化する場所、閉め切った車内、ストーブ、ヒータ、冷凍庫、本体の放熱を妨げる場所など。
- ・湿度や水気が多い場所、浴室内、台所の流しや湯気の当たる場所、雨や雪のかかる屋外、直射日光が当たる場所。
- ・強い電波や磁力、静電気が発生する場所。腐食性ガスの発生、化学物質の付着するおそれのある場所。

以下のような取り扱いとは絶対にしないで下さい。

- ・本製品を落下などの衝撃を加えないで下さい。
- ・本製品の上には、重い物、液体などを置かないで下さい。
- ・異常発熱や発煙の原因となる為、本製品内に金属などの異物が入らないようにして下さい。
- ・電源供給線の誤配線が無いようにして下さい。
- ・手や体が電源部に接触すると感電する事がありますので、ご注意下さい。
- ・煙が出るなど、異臭がした場合は直ちに電源供給を停止し使用を中止して下さい。
- ・感電の恐れがありますので、電源を入れた状態では施工しないでください。
- ・本体は、屋内での使用を前提に設計されています。屋外でご使用の際には使用条件定格内になるように工夫してご使用ください。
- ・本体内部に異物等が入らないようにご注意ください。



注意

本体の分解・改造は行わないでください。本体内部は静電気に極めて弱い部品が使用されています。本体に触る前に人体の静電気を逃がしてください。

異常発熱や発煙を防止するため、本製品の保障特性・性能の数値に少し余裕を持たせて使用してください。

本体もしくはそれに接続されている部分から異臭がした場合や、過熱や煙が出たりする場合は、ただちにご使用を止め、電源を切り、取り外してお買い上げの販売店、または弊社までご相談ください。

本製品を長期間使用しない場合は、購入時の箱に入れて保管して下さい。

本書の内容のコピーや転載を無断で行わないで下さい。著作権法により禁止されています。

ACアダプタは必ず付属品をご使用ください。他の製品の流用は絶対にお止め下さい。

設定後には動作試験を必ず実施してからご使用下さい。

設置場所について（必ずお読み下さい）

本体を次のような場所に設置しないでください。動作が不安定になるなど、おもわぬ火災や故障の原因になる場合があります。

- ・急激な温度変化や湿度変化がある場所。
- ・結露するような場所。
- ・直射日光があたる場所。
- ・水気、火気のある場所。
- ・粉塵等のほこりの多い場所。
- ・不安定な場所や振動がある場所。
- ・強い磁気や電磁波を発生する機器の近く。
- ・腐食性ガスのある場所。
- ・気化した薬品や化学反応をおこす様な場所。空気中に塩分が含まれている場所。
- ・鉄粉がある場所。

お願い

本体やケーブル等は、小児の手が届かない場所に保管、設置してください。長期間にわたって無人で使用する場合は、必ず定期的に保守・点検を行ってください。

初期不良について

初期不良対応は、**商品到着後 14 日以内**です。また、弊社の発送間違いの場合も交換させていただきます。なお、初期不良で売り切れ商品につきましては、同機種に交換できない場合があります。その場合、修理対応とさせていただきますか、弊社によるお引取りにて対応させていただきます。

製品保証について

本製品の保証期間は、ご購入の日から1年間です。保証期間を過ぎた場合は有償修理となります。ただし、「警告と注意」の項に掲げた環境や使用状況での故障については、保証期間であっても有償修理となります。保証に関する詳細は製品に添付の保証書をご覧ください。

雷による故障について

雷による故障は保証期間内であっても保証対象外となります。対策として、回線側と電源側に避雷器を取り付けられる事をおすすめします。弊社では避雷器の販売をしておりませんので別途ご用意下さい。

製品修理について

本製品の正しいご使用方法にも関わらず発生した故障に対し、製品の保証期間中（ご購入後1年間）は無償で修理いたします。保証期間を過ぎている場合は有償修理となります。

修理に出される前には、弊社ホームページの製品別 Q&A に同様な事例がないかご確認下さい。また、もう一度故障状況もご確認いただき、弊社営業担当者まで事前にご連絡をお願いします。

修理品は宅配便などで弊社までご送付下さい。

修理内容の明記

修理に出す場合は、必ず故障の内容や状況を具体的に明記し、修理品と一緒に送って下さい。

修理料金について

修理料金は、技術料、部品代、送料で構成されます。

送料について

保証期間内：返送費用は弊社負担とさせていただきます。

弊社までの送料はお客様でご負担下さい。

保証期間外：お客様の負担となります。

※出張修理は行いません。

ご連絡、お問い合わせ先

各種問い合わせは、下記の連絡方法がございます。また、弊社のホームページには技術情報ならびに最新情報、Q&A などが掲載されていますのでご覧下さい。

インターネットメールによるお問い合わせが、簡潔で間違いが無く、内容が伝えやすいのでとても便利です。

技術的なお問合せに関しては、開発環境や問題となっている事柄などを具体的にとりまとめた後にご連絡下さい。

■ インターネットメール

Eメールアドレス : eigy@adocon.co.jp

宛先 : 株式会社アドコン 営業担当宛

■ 電話

電話番号 : 0852-54-2036

受付時間 : 9 : 00 ~ 12 : 00

13 : 00 ~ 17 : 00

※営業日は平日のみとなっております。

■ FAX

F A X 番号 : 0852-54-2196

宛先 : 株式会社アドコン 営業担当宛

■ 郵便

郵便番号 : 690-2101

住所 : 島根県松江市八雲町日吉 3-24

宛名 : 株式会社アドコン 営業担当宛

■ ホームページ

弊社ホームページには製品毎のカタログ、取扱説明書ならびに新着情報、Q&A などが掲載されていますのでご覧下さい。

ホームページアドレス <http://www.adocon.jp/>

目次

ご使用の前に	7
略称、商標について.....	7
制限事項.....	7
接続する電話回線について.....	7
本体の操作について.....	7
システム料について.....	7
充電池について.....	7
製品概要と特徴	8
概要.....	8
特 徴.....	8
パッケージ内容の確認.....	9
WhiteLock110AN との違い.....	9
PBX（内線交換機）での使用について.....	10
PBX 回線で確認するところ.....	10
PBX の仕様で確認するところ.....	10
その他の注意点.....	10
各部の名称とその機能	11
本体外観.....	11
動作設定	12
設定方法.....	12
設定内容.....	13
回線自動判定.....	14
全解除呼出.....	14
停電や復電時に通報.....	14
個別解除呼出.....	14
ダイヤル種別.....	14
通報開始時に電話機を切断.....	14
電源 ON 時に 60 秒間信号を無視.....	14
定期通報.....	14
入力信号の接点仕様.....	14
リダイヤル回数.....	15
通報先電話番号.....	15
入力信号の判定時間（ミリ秒）.....	15
停電判定時間.....	15
定期通報の時間間隔.....	15
全設定を初期設定に戻す.....	15
メール送信システムへの登録.....	15
動作確認	16
動作確認方法.....	16
通話時間と受信装置について	17
1 回の通報にかかる通話時間.....	17
受信装置.....	17
通報の種類と動作	17
標準設定の時.....	17
全解除呼出.....	18
個別解除呼出.....	18
個別解除呼出と全解除呼出の両方を指定している場合.....	19
停電時発信.....	19

定期通報.....	19
通報終了の条件.....	20
1つの通報先を終了する条件.....	20
通報を終了するまでに発生した警報.....	20
リダイヤルについて.....	20
設置方法.....	21
設置場所を決める.....	21
壁掛けブラケット.....	21
接続工事.....	21
本体側の電話回線.....	21
入力端子接続.....	21
接続.....	21
端子台.....	22
センサー用電源 5V 出力.....	22
ACアダプタの接続.....	22
信号入力部の内部回路.....	23
動作モニタ.....	24
表示モニタランプ.....	24
設定時.....	24
起動時.....	24
通報の状態から見たとき.....	24
ランプの点灯状態から見たとき.....	24
停電保証について.....	25
停電保証充電電池.....	25
Q & A 困ったときにご覧下さい.....	26
一般的なご質問.....	27
通報と設定についてのご質問.....	29
メール送信システムについてのご質問.....	30
仕様.....	31
「WhiteLock110A17」本体.....	31
本体を清掃するときは.....	31
外形図.....	32
壁掛けブラケット外形図.....	33
ACアダプタ外形図.....	33
バージョン.....	34
更新履歴.....	35
付録.....	36
設定内容一覧表.....	36
索引.....	37

ご使用前に

略称、商標について

記載の会社名または製品名は各社の登録商標です。

制限事項

本製品は日本国内での使用を目的に設計されています。国外でのご利用は出来ません。

接続する電話回線について

本体と**接続可能な電話回線**は下記の通りです。

1. NTT 仕様で 2 線式のプッシュ回線またはダイヤル回線です。

ADSL 回線・ISDN 回線・IP 電話・光電話等の場合は、専用の信号変換機器やモデム、ターミナルアダプタのアナログポートに接続できます。

注）モデムやターミナルアダプタなど、ルーター経由での動作保証は致しかねます。

2. アナログ PBX 交換機を介して接続する場合には、NTT 仕様に準拠したものでなければなりません。

詳細は、「PBX（内線交換機）での使用について」10ページをご覧ください。

本体と**接続出来ない電話回線**は下記の通りです。

1. 携帯電話機、PHS、ビジネスホン回線、ホームテレホン回線、4 線式電話機、専用線に接続することは出来ません。

注）ビジネスホン回線・ホームテレホン回線に接続して通報動作をしますと WL110A17 が故障します。

本体の操作について

- ・電源スイッチを OFF にした直後に ON にすると内部 CPU が正しく起動しないことがあります。電源スイッチを OFF にして、再び ON にする際には、3 秒以上待ってから ON にして下さい。
- ・電源プラグを差し込む時は、WL110A17 の電源スイッチを OFF にした状態で差し込んでください。

システム料について

「メール送信システム」のユーザー登録を行って下さい。ユーザー登録が未登録ですと、通報出来ません。

「メール送信システム」の登録料は無料です。ご購入より 1 年間は、システム料が無料です。ご購入の翌年よりシステム料（500 円/月）をお支払いいただくようになります。

充電池について

出荷時、付属の充電池は完全に充電されておりませんのでご注意ください。充電池を本体電池スナップと接続し、本体に商用電源（AC アダプタ）を接続した状態で 72 時間（3 日間）経過すれば満充電となります。

製品概要と特徴

概要

本製品は、電話回線に接続して通報を行います。接点信号が入ると、「メール送信システム」を利用してEメール通報します。

特徴

- ・ **PBX(内線交換機)にも対応**
PBX交換機でのご使用も可能です。
- ・ **接点入力4点+センサー用電源5V**
入力点数が4点あり様々なセンサーや機器類が接続できます。また、センサー等の電源供給用として電源5V出力を装備しています。
- ・ **外部入力毎に登録されたメッセージ内容でEメール通報**
「メール送信システム」でご希望のメッセージ内容を外部入力信号ごとに登録できます。
- ・ **最大30カ所までのメールアドレスが登録できます**
「メール送信システム」では、最大30カ所まで通報先（Eメールアドレス）の登録が可能です。
- ・ **停電保証充電電池付きで停電保証 2時間以上を確保、**
006P型ニッケル水素充電電池を標準添付。
- ・ **停電・復電通報を標準装備**
停電・復電通報の設定が可能です。外部から停電信号を接続する必要がありません。
- ・ **小型で制御盤内への組込が容易**
本体重量は約230gと軽量です。本体サイズも非常にコンパクトなので制御盤内への取り付けも簡単に行えます。また、壁掛けブラケットも付属していますので、ワンタッチで取り外しが可能です。
- ・ **入力信号の選択が可能**
入力が短絡状態になったときに通報するか、開放状態になったときに通報するか、入力毎に設定が可能です。
- ・ **設定は電話機で行います**
設定はWL110A17に電話機を接続し、プッシュ音で行います。
- ・ **電話機を接続して併用することが出来ます**
電話機側が通話中に警報発生した場合は、通話中の回線を強制的に切断し、通報を開始します。また、通話を優先し強制的に回線を切断させない設定も出来ます。
- ・ **低価格**
他社の半分以下の超低価格。もう通報装置にお金をかける必要はありません。

パッケージ内容の確認

製品をご使用になる前に、パッケージに以下のものが全て揃っているか確認してください。不足しているものがございましたら、お買い上げの販売店、または弊社までご連絡ください。

名称	画像
本体	
端子台ソケット (本体に取り付け済み)	
壁掛けブラケット (フック部品はケースに取付済み)	
ACアダプタ (スイッチング式)	
モジュラーケーブル	
停電保証充電池	
保証書	—

※商品の色合いは、実物と多少異なる場合がありますのでご了承ください。

※商品の仕様、外観、価格は予告なく変更する場合がありますので、ご了承下さい。

※取扱説明書は本製品に付属していません。

取扱説明書は製品ページから最新版をダウンロードしてお使い下さい。

製品サイト <http://www.adocon.jp/>

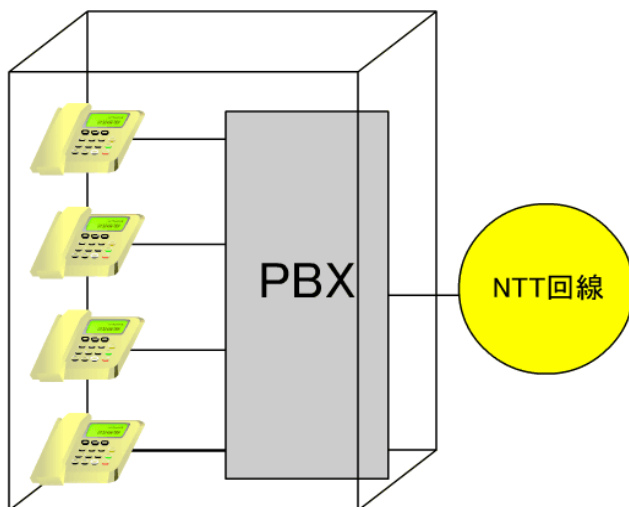
取扱説明書（モノクロ A4 版）を別途購入して頂くことも可能です。ご購入の際には販売店、または弊社までお問い合わせ下さい。

WhiteLock110AN との違い

- ・専用の設定ソフトはありません。電話機を接続し、電話機のプッシュ音で設定を行います。
- ・出荷時には初期設定されています。設定内容は、WL110A17 に電話機を接続して変更が可能です。
- ・音声通報は出来ません。
- ・「メール送信システム」を利用した E メール通報のみとなります。（有料システムです）
- ・電話機を WhiteLock110A17 に接続して使用する事が出来ます。
- ・電話機を併用して使用する場合に自動転換器が不要となります。
- ・電話機を併用して使用した場合、通話中でも通報が優先となり、強制的に回線を切断します。通話を優先し強制的に回線を切断させない設定も出来ます。

PBX（内線交換機）での使用について

PBX（内線交換機）とは、構内電話交換機のことをいいます。電話局で使われている局内交換機に対応するもので、企業内に設置して外線電話と内線電話同士を交換する装置のことです。



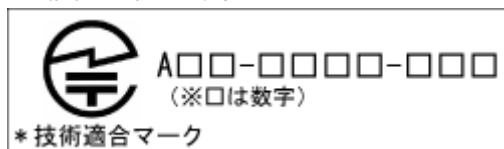
PBX 回線で確認するところ

接続する回線がビジネスホン回線ではない事をご確認下さい。NTTの電話機（家電量販店・ホームセンターなどで市販している物）を内線へ接続し、外線に電話がかかる回線であればWL110A17を接続出来ます。

※ビジネスホン回線へWL110A17を接続して通報動作を行いますと、WL110A17が故障します。

電話回線に接続されている電話機の技術基準適合認定番号でも、ビジネスホン回線の確認が出来ます。電話機には、技術適合マークと認定番号が記載されています。電話用設備（一般電話機など）の認証番号は「A」で始まります。一例として、ビジネスホン端末機器の認定番号の始まりは「ACD」と表示されています。

ビジネスホン回線は、主装置に認証番号が記載されている事があります。電話機に記載が無い場合はビジネスホン回線の可能性があります。



※左図は、一般電話機の記載例です。

PBX の仕様で確認するところ

受話器を上げたとき	DT（発信音）…400Hzの連続、または、PDT（内線発信音）…400Hz 0.25秒 ON 0.25秒 OFF の繰り返し音が聞こえること。
相手が話中のとき	BT（話中音）…400Hz 0.5秒 ON 0.5秒 OFF の繰り返し音が聞こえること。
相手を呼び出しているとき	RBT（呼出音）…400Hz 1秒 ON 2秒 OFF の繰り返し音が聞こえること。
相手が電話を切断したとき	BT（話中音）…400Hz 0.5秒 ON 0.5秒 OFF の繰り返し音が聞こえること。 数回鳴って無音になってしまうPBXは使えません。

※SDT（第2ダイヤルトーン）0.125秒 ON/OFF にも対応しています。

※発信音が500HzのPBXや、話中音が440HzのPBXもあります。これらはPBXのメーカーにお問い合わせみてください。また、上記説明で、0.25秒のところを0.2秒のPBXがありますが、これは使用できません。

※発信音がこの条件と異なる場合、PBXの設定で変更可能な場合があります。PBXのメーカーか設置業者に問い合わせてください。

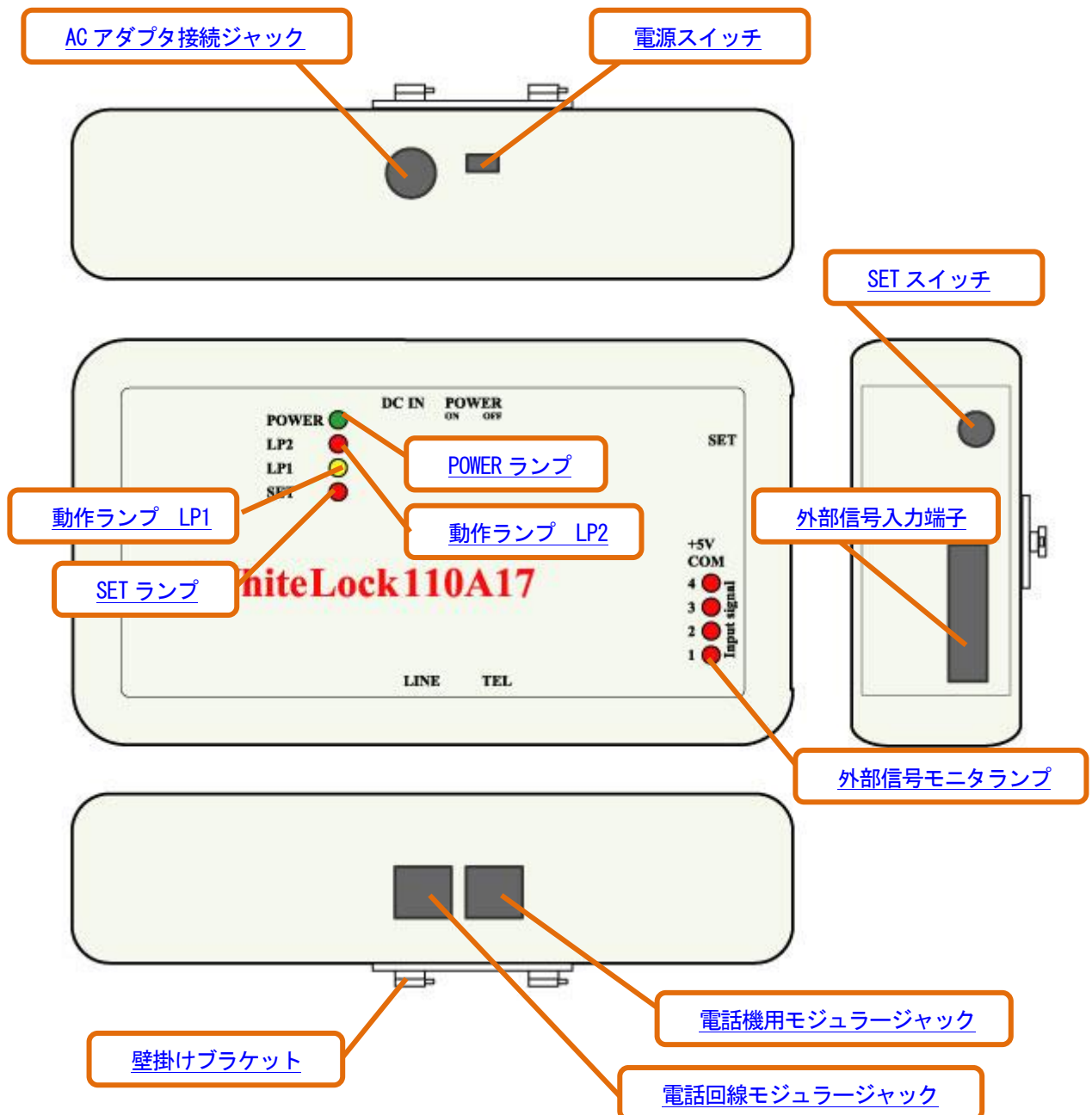
※電話を切った後のBT（話中音）が400Hz 0.5秒 ON 0.5秒 OFF の繰り返し音でないと、正常に通報終了しません。

その他の注意点

外線電話番号の最初に「186」を付けると電話がかからないPBXもあります。この場合は「186」を付けない設定で使用してください。また、外線発信番号を設定すると、通報装置は指定番号の発信を行ってから約1秒待ってダイヤルを開始します。外線発信番号と待機時間は設定ソフトで変更できます。

各部の名称とその機能

本体外観



動作設定

設定はWL110A17に電話機を接続して行います。出荷時には初期設定の内容が設定されています。変更したい場合は、変更箇所だけを設定して下さい。初期設定の内容と変更の各番号は13ページを参照下さい。

設定方法

- ・ トーン信号の発信が出来る電話機をご用意下さい。
 - ・ 設定時に電話回線へ接続する必要はありません。
 - ・ 設定した内容を確認する事は出来ません。実際に動作させて確認して下さい。
- ※設定した内容を36ページの「設定内容一覧表」に記載しておく便利です。

①下図のようにWL110A17に電話機を「TEL」に接続します。また、ACアダプタも接続します。

②ACアダプタをコンセントに接続して下さい。

③WL110A17の「SETボタン」を押しながらPOWERスイッチをONにします。SETランプが点灯した事を確認し「SETボタン」から手を離します。

※電池駆動で「SETボタン」を押してPOWERスイッチをONにした場合、電池の充電残量が不足していると、SETボタンを押している間、LP1とLP2が点滅しカチカチと音が鳴ります。

④電話機の受話器を上げ、ダイヤルボタンで設定を行います。

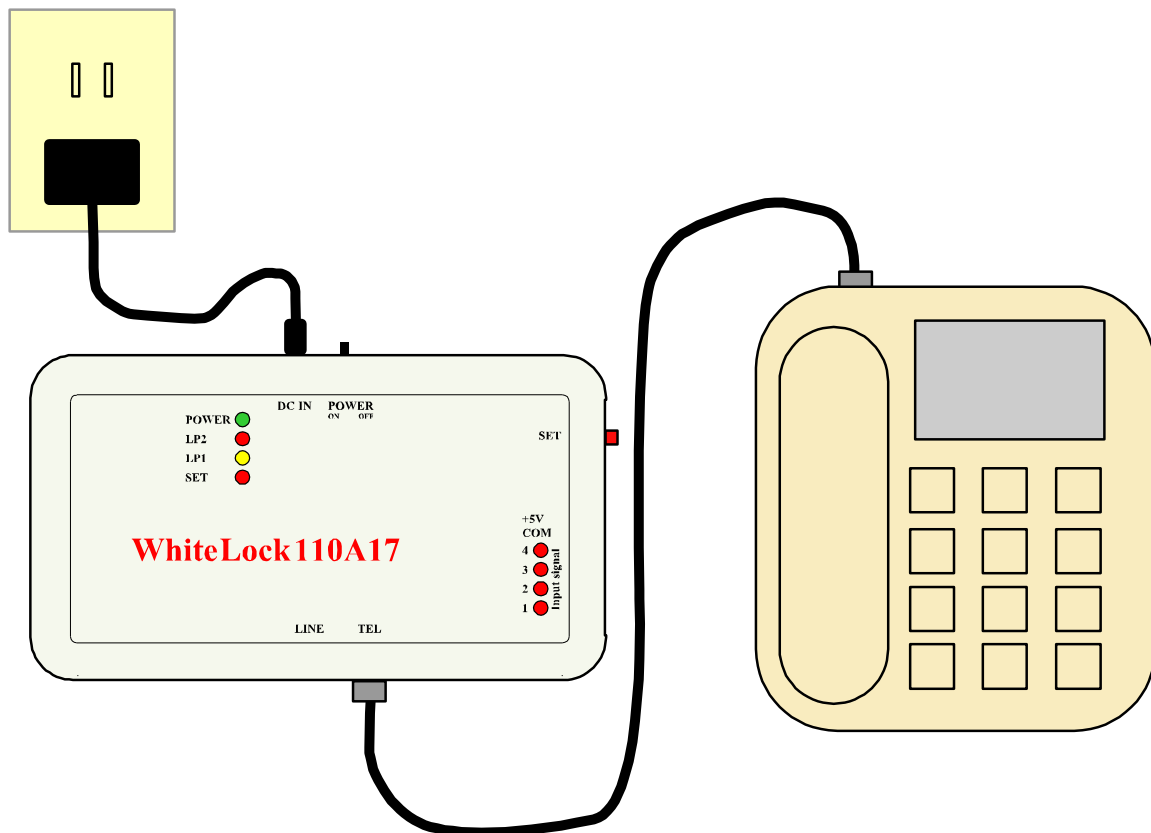
「機能番号」を入力した後に「設定番号」を入力します。

※設定内容と各番号は13ページを参照下さい。

・ 正常に登録出来ると「ピー」と受話器から音が聞こえ、SETランプが1回点滅します。

・ 上手く登録出来なかった場合は、「ピピピッ」と受話器から音が聞こえ、SETランプが3回点滅します。再度登録を行って下さい。

⑤設定が終了しましたら、受話器を戻しWL110A17のPOWERスイッチをOFFにします。



※「TEL」側に電話機を接続します。

設定内容

出荷時は「初期設定」の内容で設定されています。変更したい箇所のみ機能番号を入力して設定して下さい。
各設定内容の詳細は14ページを参照下さい。

設定内容	設定番号	機能番号	初期設定	設定例(初期設定)
回線自動判定	0=しない 1=する	#00	0=しない	# 000 # #
全解除呼出	0=しない 1=する	#01	0=しない	# 010 # #
停電(復電)時に通報	0=しない 1=する	#02	0=しない	# 020 # #
個別解除呼出	0=しない 1=する	#03	1=する	# 031 # #
ダイヤル種別	0=トーン 1=パルス	#04	0=トーン	# 040 # #
通報開始時に電話機を切断	0=しない 1=する	#05	1=する	# 051 # #
起動時 60 秒間信号を無視	0=しない 1=する	#06	0=しない	# 060 # #
定期通報	0=しない 1=する	#07	0=しない	# 070 # #
接点入力仕様(※1)	0=a 接点 1=b 接点	#08	0000=a 接点	# 080000 # #
リダイヤル回数制限	*リダイヤル回数表を参照	#09	0=制限無し	# 090 # #
通報先電話番号(※2)	24 桁まで	#10	サ-バ-ナツバ-	#1018605055025281 # #
入力1 判定時間	*①時間判定表を参照	#11	3=700 ミリ秒	# 113 # #
入力2 判定時間	*①時間判定表を参照	#12	3=700 ミリ秒	# 123 # #
入力3 判定時間	*①時間判定表を参照	#13	3=700 ミリ秒	# 133 # #
入力4 判定時間	*①時間判定表を参照	#14	3=700 ミリ秒	# 143 # #
停電判定時間	*①時間判定表を参照	#15	3=700 ミリ秒	# 153 # #
定期通報の時間間隔	*②時間間隔表を参照	#16	7=24 時間	# 167 # #
全設定を初期設定に戻す		#170		# 170 # #

※1「接点入力仕様」は入力4・3・2・1の順にa接点かb接点を入力します。

※2 入力出来るのは24桁までです。「*」はポーズ0.5秒です。PBX(内線交換機)に接続し「0」発信後に1秒のポーズを入れる場合は「# 100**18605055025281 # #」と設定します。

*リダイヤル回数表

設定番号	回数
0	制限無し
1	5 回
2	10 回
3	20 回
4	30 回
5	40 回
6	50 回
7	60 回

*①時間判定表

設定番号	時間
1	200 ミリ秒 (0.2 秒)
2	500 ミリ秒 (0.5 秒)
3	700 ミリ秒 (0.7 秒)
4	2000 ミリ秒 (2 秒)
5	5000 ミリ秒 (5 秒)
6	10000 ミリ秒 (10 秒)
7	30000 ミリ秒 (30 秒)

*②定期通報の時間間隔表

設定番号	間隔
1	1 時間
2	2 時間
3	5 時間
4	10 時間
5	15 時間
6	20 時間
7	24 時間

回線自動判定

接続した回線がプッシュ回線（トーン）かダイヤル回線（パルス）のどちらなのかを自動判定します。
（初期設定は「しない」）

全解除呼出

全ての入力信号が警報解除時に（機器の故障やセンサーの信号が「なし」の状態になったとき）通報します。
（初期設定は「しない」）

停電や復電時に通報

AC アダプタからの電源供給が無くなった時に通報する事が可能です。また、電源供給が復旧した時も通報します。
（初期設定は「しない」）

個別解除呼出

各入力信号が警報解除時に（機器の故障やセンサーの信号が「なし」の状態になったとき）通報します。
（初期設定は「する」）

ダイヤル種別

接続した回線がプッシュ回線（トーン）かダイヤル回線（パルス）のどちらかを設定します。
（初期設定は「トーン」）

※「回線自動判定」を設定している場合、「ダイヤル種別」設定の必要はありません。

通報開始時に電話機を切断

接続している電話機が通話中でも、警報が発生すると通話中の回線を切断し通報を開始します。

「しない」に設定した場合は、通話中に警報が発生しても通話中の回線は切断されません。通報は開始しますが回線使用中の為、エラーとなりリダイヤルします。

注：電話機が呼出中の時に通報が始まった場合は、電話機からピポパ音が聞こえる事があります。この場合、通報が正常に送られないまま終了してしまう恐れがあります。

（初期設定は「する」）

電源 ON 時に 60 秒間信号を無視

電源を ON してから 60 秒間は、警報が発生しても通報しません。

（初期設定は「しない」）

定期通報

WL110A17 が動作している事を定期的に通報します。通報は、1～24 時間の間で設定が可能です。

（初期設定は「しない」）

入力信号の接点仕様

入力信号の接点仕様を a 接点仕様または b 接点仕様に設定します。

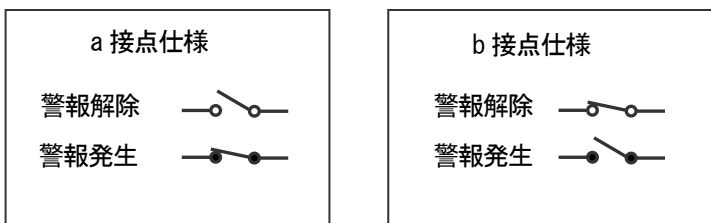
（初期設定は「入力 1～4 全て a 接点仕様」）

a 接点・・・ノーマル・オープン接点/メイク接点など

b 接点・・・ノーマル・クローズ接点/ブレーク接点など

※本体の入力信号モニタランプは、外部信号が短絡した時に点灯します。

※b 接点（チェックを入れた場合）の警報発生時の入力信号モニタランプは消灯状態です。警報解除時に点灯します。



リダイヤル回数

通報が正常に終了しなかった場合に、再度電話をかける回数を設定します。5回/10回/20回/30回/40回/50回/60回で設定可能です。または制限無しの設定もできます。

(初期設定は「制限無し」)

通報先電話番号

入力出来るのは24桁までです。「*」はポーズ0.5秒です。PBX(内線交換機)に接続し「0」発信後に1秒のポーズを入れる場合は「# 100**18605055025281 # #」と設定します。

※サーバー以外の番号を設定しますと、正常に通報出来ません。

(初期設定は「18605055025281」)

入力信号の判定時間(ミリ秒)

各入力信号がこの時間の間、継続して短絡(または開放)した時に入力変化があったとみなします。200ミリ秒から30000ミリ秒の範囲で、時間判定表から選択します。

※入力ランプが点灯(又は消灯)したと同時に判定時間をカウントし始めます。

※b接点に限り電源をON時の警報状態(開放)は、設定時間に関係なく初期値(700ミリ秒)で通報します。

(初期設定は「700ミリ秒(0.7秒)」)

停電判定時間

ACアダプタからの電源供給が無くなった時、停電と判定するまでの時間を設定します。200ミリ秒から30000ミリ秒の範囲で、時間判定表から選択します。

※停電時に通報しない場合は無効です。

(初期設定は「700ミリ秒(0.7秒)」)

定期通報の時間間隔

定期通報を行う時間間隔を設定します。1時間から24時間の範囲で、定期通報の時間間隔表から選択します。

※定期通報を「しない」に設定している場合は無効です。

(初期設定は「24時間」)

全設定を初期設定に戻す

全設定を初期設定に戻すことができます。

メール送信システムへの登録

WL110A17をご使用するには「メール送信システム」へのご登録が必要です。

弊社ホームページより利用規約の内容をご確認頂いたうえで、ユーザー登録へ進みます。ユーザー登録シート(Excel)をダウンロード後に、登録を行って下さい。

実際に受け取るメールの内容や通報先のメールアドレスを登録します。

動作確認

動作確認方法

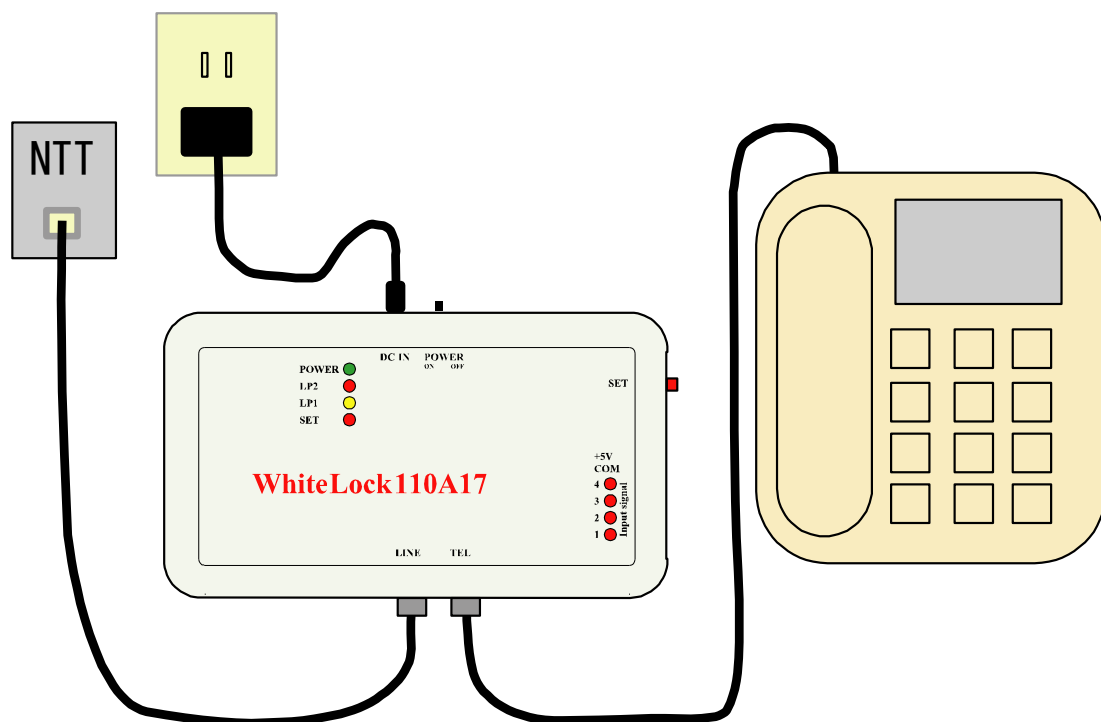
WL110A17 の設定と「メール送信システム」の登録が終了しましたら、設定した内容通りに動作する事を必ず確認して下さい。

1. 「POWER」スイッチが「OFF」になっている事を確認します。
2. AC アダプタの電源プラグを WL110A17 の「DC IN」に接続し、AC アダプタをコンセントに差し込みます。接続方法は「AC アダプタの接続」22ページの説明をご覧ください。
3. 付属のモジュラーケーブルで電話回線と WL110A17 の「LINE」へ接続します。接続はカチッと音がして完全に差し込まれていることを確認してください。
4. 「POWER」スイッチを「ON」にします。
5. 各入力信号「1～4」の端子と、共通端子「COM」をリード線等で結線させ通報させます。
6. 全ての通報先にメールが届き、メールの内容が正しい事を確認します。

※下図のように、電話回線と AC アダプタを接続して動作確認を行ってください。

※電話機と併用してご使用する場合は、電話機を「TEL」に接続します。

※電話機を接続しない状態でも、通報は可能です。



通話時間と受信装置について

1 回の通報にかかる通話時間

「メール送信システムへ通報」の場合は、弊社サーバーまでの通話時間になります。1つの通報についての通話時間は、28秒以下です。

※通報装置をNTTの「ひかり電話（光IP電話）」に接続している場合、このシステムへの通報は出来ません。

※モデムやターミナルアダプタなど、ルーター経由での動作保証は致しかねます。

受信装置

メール送信システムから送信されるのはEメール（インターネットメール）です。Eメールを受信出来るパソコン、又は携帯電話機などの端末に限ります。

弊社のメール通報システムは、専用サーバーからLANを通して光ケーブルで高速配信している為、送信元はパソコンと同じ扱いになります。whitelock★adocon.co.jp（★を@に変えて）からの受信を許可する設定を行って下さい。

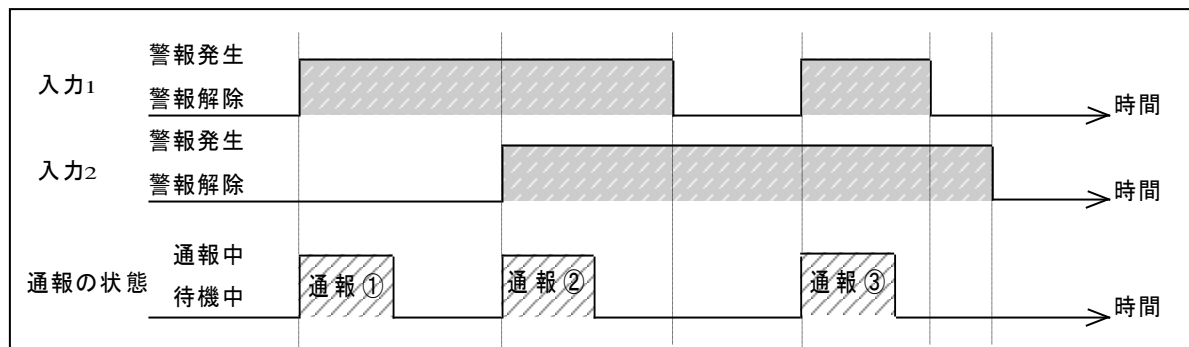
※通報先が携帯電話で、パソコンからのメール受信を拒否もしくは迷惑メール拒否をされている場合は、メールが受信出来ませんのでご注意ください。

※通報先がパソコンですと、迷惑メールフォルダに入っている場合がありますので、ご注意ください。

通報の種類と動作

標準設定の時

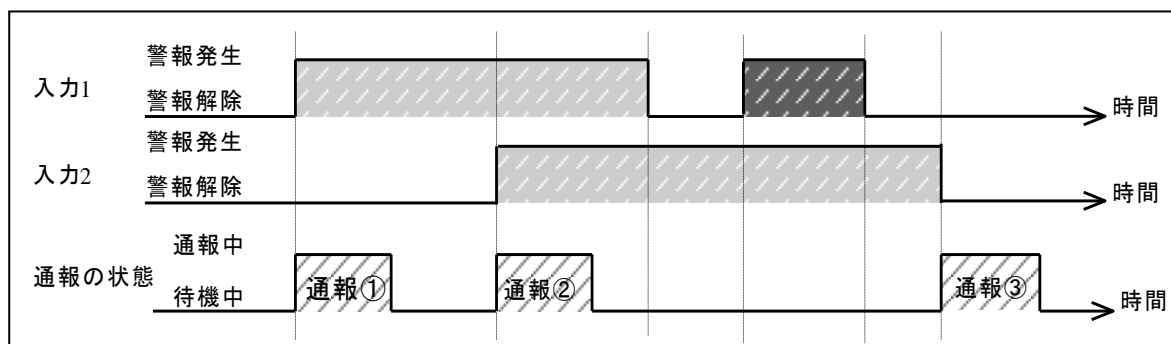
入力信号が「警報発生」の状態になると通報を行います。



1. 入力信号1「警報発生」… 通報する（通報①）
2. 入力信号2「警報発生」… 通報する（通報②）
3. 入力信号1「警報解除」… 通報しない（個別解除呼出の設定がしていないとき）
4. 入力信号1「警報発生」… 通報する（通報③）
5. 入力信号1「警報解除」… 通報しない（個別解除呼出の設定がしていないとき）
6. 入力信号2「警報解除」… 通報しない（全解除呼出の設定がしていないとき）

全解除呼出

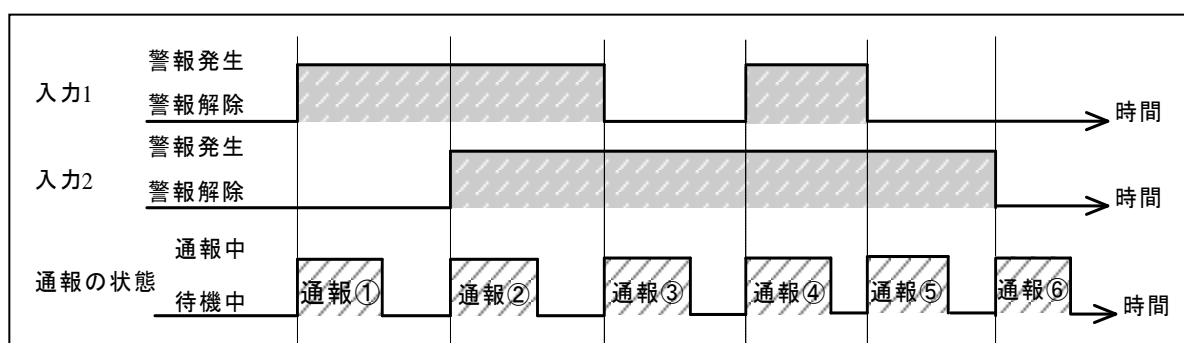
「全解除呼出」を「する」に設定した場合、全ての入力信号が「警報解除」の状態になると「全解除通報」を行います。
 注) 通報開始より「全解除通報」までの間、既に通報済みの入力信号の「警報発生」は通報しません。全ての入力信号が「警報解除」になった後に「警報発生」になると通報します。



1. 入力信号 1 「警報発生」 … 通報する (通報①)
2. 入力信号 2 「警報発生」 … 通報する (通報②)
3. 入力信号 1 「警報解除」 … 通報しない
4. 入力信号 1 「警報発生」 … 通報しない (通報を行ってから「全解除通報」していないため)
5. 入力信号 1 「警報解除」 … 通報しない
6. 入力信号 2 「警報解除」 … 全解除通報する (通報③)

個別解除呼出

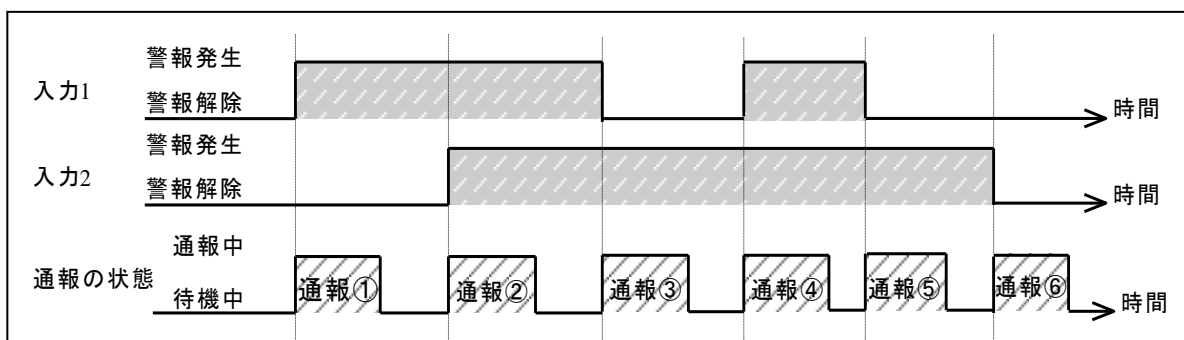
「個別解除呼出」を「する」に設定した場合、各入力信号が「警報解除」の状態になると「個別解除通報」を行います。
 注) この設定をすることで、センサーなどの信号出力が誤報検知を出したとき、すぐに復旧すれば解除呼出によって誤報の確認が出来ることもあります。個別解除呼出に設定すると、入力変化の度に通報しますから通報頻度が高い場合は通話料が多くかかります。入力信号が頻繁に変わるところへ設置する場合は注意が必要です。



1. 入力信号 1 「警報発生」 … 通報する (通報①)
2. 入力信号 2 「警報発生」 … 通報する (通報②)
3. 入力信号 1 「警報解除」 … 個別解除通報する (通報③)
4. 入力信号 1 「警報発生」 … 通報する (通報④)
5. 入力信号 1 「警報解除」 … 個別解除通報する (通報⑤)
6. 入力信号 2 「警報解除」 … 個別解除通報する (通報⑥)

個別解除呼出と全解除呼出の両方を指定している場合

「全解除呼出」と「個別解除呼出」の両方を指定している場合は、個々の解除呼び出しを行い、全ての入力が解除になる最後の解除呼び出しが「個別解除呼出」ではなく「全解除呼出」になります。

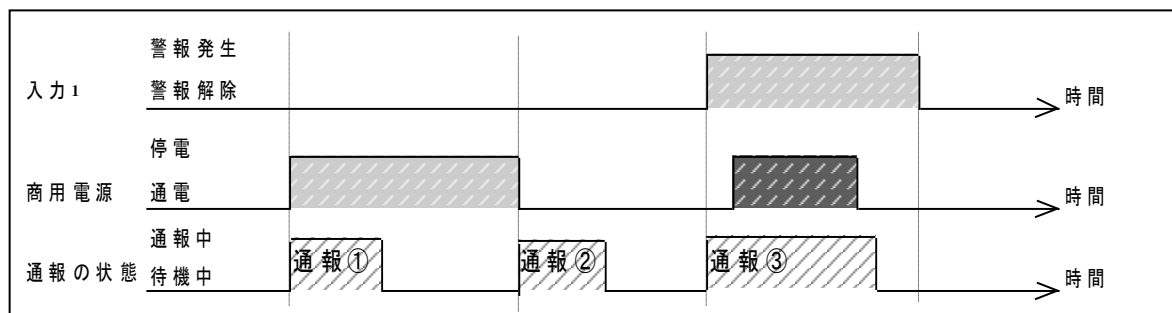


1. 入力信号 1 「警報発生」 … 通報する (通報①)
2. 入力信号 2 「警報発生」 … 通報する (通報②)
3. 入力信号 1 「警報解除」 … 個別解除通報する (通報③)
4. 入力信号 1 「警報発生」 … 通報する (通報④)
5. 入力信号 1 「警報解除」 … 個別解除通報する (通報⑤)
6. 入力信号 2 「警報解除」 … **全解除通報**する (通報⑥)

停電時発信

商用電源からの電源供給が無くなった時に「停電通報」を、商用電源が復電した時に「復電通報」を行います。
 ※停電通報は「全解除呼出」や「個別解除呼出」とは関係なく、別の呼出として通報します。

注 停電通報後、停電保証電池の残量が一定電圧以下になると、本体は停止します。復電時に本体は再起動しますが、この時の復電通報は行いません。停電保証電池が一定電圧以下になる前に復電した場合は復電通報を行います。



1. 商用電源 「停電発生」 … 停電通報する (通報①)
2. 商用電源 「停電解除」 … 復電通報する (通報②)
3. 入力信号 1 「警報発生」 … 通報する (通報③)
4. 商用電源 「停電発生」 … 停電通報しない (入力信号 1 の通報中のため)
5. 商用電源 「停電解除」 … 復電通報しない (停電通報を行っていないため)

定期通報

指定した時間毎に通報を行います。

1時間毎から24時間毎に設定できます。通報装置が正常に動作しているかを定期的に確認できます。

※時間の間隔は13ページを参照下さい。

※定期通報の通報内容では、入力信号の状態は確認出来ません。

※WL110A17Iにはタイマーが内蔵されていない為、1日で約10分程度のずれが生じます。

通報終了の条件

1つの通報先を終了する条件

メール送信システムサーバーがメッセージ内容を受け取ると終了となります。

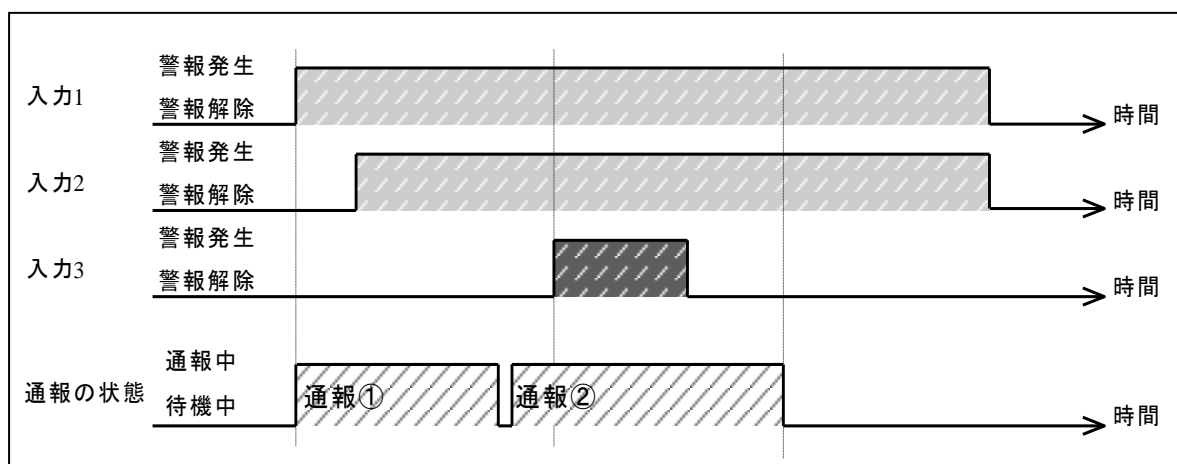
※サーバー回線が話中時や、着信が上手く出来なかった場合は、WL110A17が一旦電話を切ってかけ直します。

※回線の環境や状態によっては、着信が出来てもデータをサーバー側が受け取れない場合があります。この場合は、通報動作は終了しますが、メールを送信する事が出来ません。

通報を終了するまでに発生した警報

通報中に新たに発生した警報は、現在の通報が設定通りに終了しない限り通報を開始しません。

通報中に発生した警報は記録していません。通報終了時に入力信号の状態を確認します。



1. 入力信号1「警報発生」… 通報する（通報①）
2. 入力信号2「警報発生」… 通報①が終了後に通報する（通報②）
3. 入力信号3「警報発生」… 通報しない（通報②が通報中に発生し解除したため）

リダイヤルについて

通報が正常に終了しない場合、LP1が10秒間低速点滅して再度電話をかけます。

設定でリダイヤル回数を5~60回、または制限無しに設定できます。

設置方法

設置場所を決める

WL110A17 を設置する前に、本書の仕様を確認の上、設置場所を決めて下さい。壁や天井などに取り付ける場合は、付属の壁掛けブラケットをご使用下さい。また、本体と接続されるコード等が余裕をもって設置出来るような空間を確保して下さい。

壁掛けブラケット

本体を固定する場合は、付属の壁掛けブラケットをご使用下さい。
フック部分は、WL110A17 下ケースに取付済みです。
ベース部分を固定したい場所に取り付けて下さい。(壁掛けブラケットの外形図は33ページです)
フック部品を引掛ける際に方向性がありますので、ベース部分の取付方向にご注意下さい。



接続工事

本体側の電話回線

NTT 仕様の 2 線式のプッシュ回線及びダイヤル回線。ISDN 回線をご利用の場合は、TA(ターミナルアダプタ)のアナログポートに接続します。

注) モデムやターミナルアダプタなど、ルーター経由での動作保証は致しかねます。

※モジュラーコードを 10m 以上でご使用するのはお止め下さい。モジュラーコードの場合、抵抗値が高くなる為に正常動作しない恐れがあります。10m 以上の場合は、必ず配線用コード 0.4mm をご使用下さい。

入力端子接続

接続

各信号は COM (共通端子) と 1~4 の間に接続します。COM (共通端子) は端子の端から 2 番目になっていますので、お間違えないように接続して下さい。信号は無電圧 a 接点 (無電圧 b 接点) 又は、オープンコレクタを接続します。

※接続できる信号は無電圧のものに限ります。商用 (AC) 100V や直流電圧がかからないようにしてください。

※設定で各入力の a 接点、b 接点を変更することもできます。

※1 つの入力に複数の入力を並列に接続して一括故障などとすることもできます。

※入力信号は 700 ミリ秒以上 (初期値) の間、継続して短絡 (または開放) 状態の時に、入力変化があったとみなし通報します。

端子台

信号入力コネクタ端子台になっています。端子台は圧着端子不要のワンタッチ式（又は押締方式）で直接電線を接続できます。また、配線工事、メンテナンスの際にはワンタッチでコネクタを抜いて配線作業が行えます。

【ネジ締め式端子台】

信号入出力コネクタの接続電線範囲 AWG28～AWG16 単線 0.5Φ～1.3Φ

電線むき長さ 7mm

締めつけトルク 0.22～0.25N・m

単線 又は より線

注意：電線の先端は予備ハンダをしないでください。

【ワンタッチ端子台】

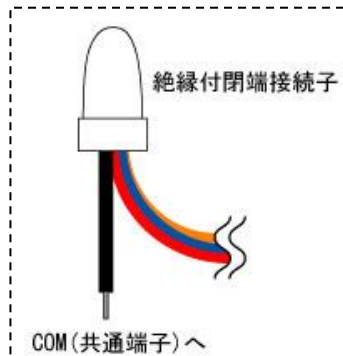
信号入出力コネクタの接続電線範囲 AWG24～AWG16 単線 0.5Φ～1.3Φ

電線むき長さ 9～10mm

単線 又は より線（棒端子併用を推奨）

* 電線を端子に接続後は引っ張るなどし、抜けないことを確認下さい。まれに端子内部の金具に挟まっていない場合があります。

* 複数の信号線を COM（共通端子）に接続する際は、絶縁付閉端接続子でまとめて下さい。（右図参照）



センサー用電源 5V 出力

「+5V」端子は、外部センサーなどの電源に利用するための電源出力です。

※使用できる最大電流は 30mA です。

※停電時には停電保証用充電電池より電力を供給するので、停電保証時間は短くなります。

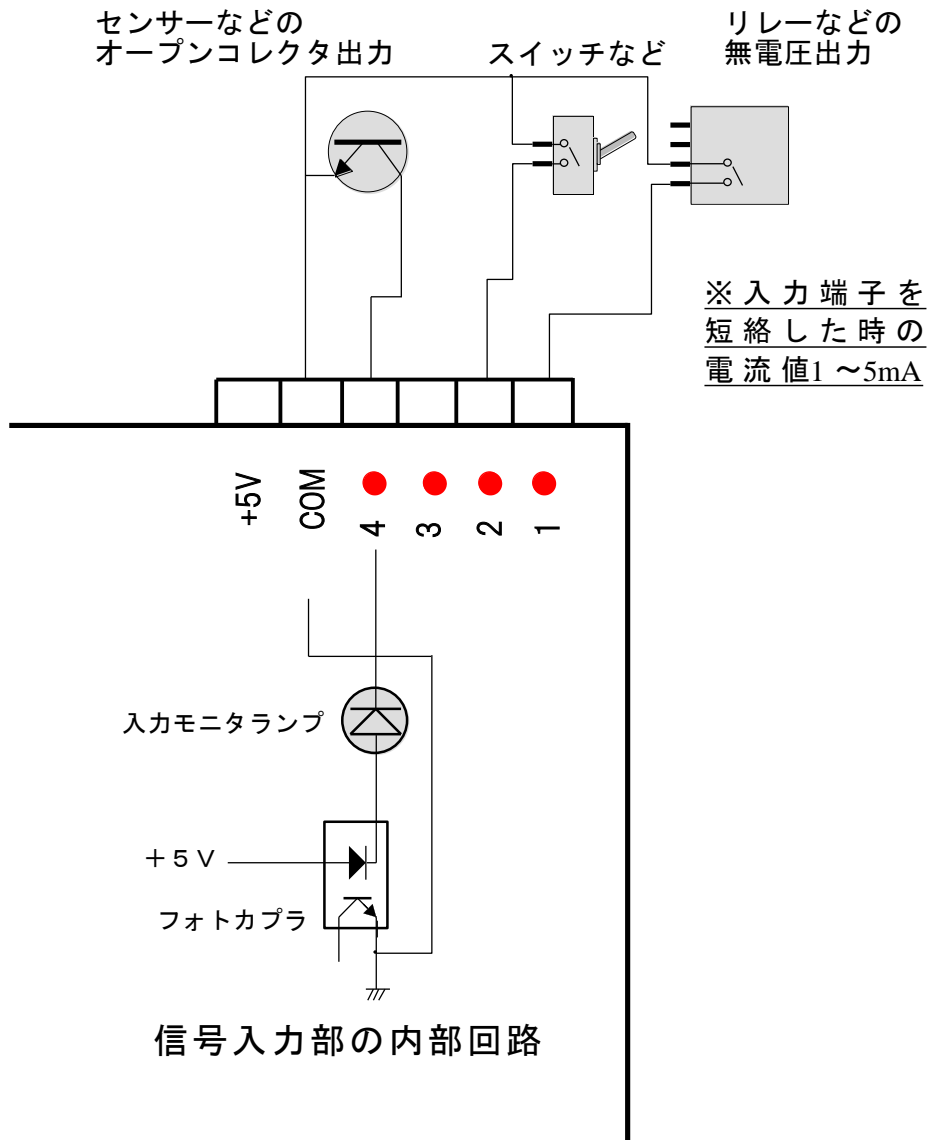
AC アダプタの接続

AC アダプタから伸びているコードのプラグを WL110A17 の「DC IN」にさし込み、AC アダプタ本体をコンセントに差し込みます。

※「POWER」(緑)は「電源」スイッチ ON の時、AC アダプタから電源供給が無い場合でも、内蔵電池からの電気が供給されていると、点灯します。

※制御盤内部の AC コンセントを利用する場合、AC コンセントに電気がきていない事があります。制御盤内部のブレーカーやスイッチでコンセント電源を入り切り出来る場合はご注意ください。停電保証用電池を取り外した状態で、電源スイッチを ON にしたとき「POWER」(緑)が点灯すればコンセントに電気がきています。

信号入力部の内部回路



動作モニタ

表示モニタランプ

設定時

「SET ボタン」を押しながら POWER スイッチを ON すると SET (赤) ランプが点灯し、設定が可能になります。

※電池駆動で「SET ボタン」を押しながら POWER スイッチを ON にした場合、電池の充電残量が不足していると、SET ボタンを押している間、LP1 と LP2 が点滅しカチカチと音が鳴ります。

起動時

「自動判定」を「しない」(初期値)に設定している場合

・回線の種類が「プッシュ回線」の場合

LP1 (黄)、LP2 (赤) が点灯して 0.5 秒後に LP2 (赤) が消灯し、その後 LP1 (黄) が消灯します。

・回線の種類が「ダイヤル回線」の場合

LP1 (黄)、LP2 (赤) が点灯して 0.5 秒後に LP1 (黄) が消灯し、その後 LP2 (赤) が消灯します。

「自動判定」を「する」に設定している場合

・回線の種類が「プッシュ回線」の場合

LP1 (黄)、LP2 (赤) が数秒間点灯した後、LP2 (赤) が消灯後に LP1 (黄) が消灯します。

・回線の種類が「ダイヤル回線」の場合

LP1 (黄)、LP2 (赤) が数秒間点灯した後、LP1 (黄) が消灯後に LP2 (赤) が消灯します。

電池で動作している場合 (AC アダプタから電源が来ていない状態)

LP1 (黄)、LP2 (赤) が消灯した後、SET (赤) ランプが 3 秒間高速点滅します。

「起動時 60 秒間入力信号無視」を「する」に設定している場合

LP1 (黄)、LP2 (赤) が消灯した後、LP1 (黄) が 60 秒間低速点滅します。

通報の状態から見たとき

- 電話を接続中
「LP1 (黄)」点灯。(受話器を上げたときから受話器を下ろすまでの間)
- サーバー側が話し中の場合
「LP1 (黄)」高速点滅 (3 秒間)。このあと 3 項に進む。
- リダイヤル待機中
「LP1 (黄)」低速点滅 (リダイヤルを開始するまで)。待機時間終了で 1 項へ進む。
- 一定時間 (30 秒間) 出なかった場合 *
「LP1 (黄)」点灯。「LP2 (赤)」高速点滅 (3 秒間)。3 項へ進む。
- 使われていない番号にかけた場合 * または回線が繋がっていない場合
「LP1 (黄)」と「LP2 (赤)」が交互に高速点滅 (3 秒間)。3 項へ進む。
- 通報終了
サーバーに電話が繋がり、データを送信して通報が終わったとき
「LP1 (黄)」は消灯し、「LP2 (赤)」が高速点滅 (6 秒間)。その後「LP2 (赤)」は消灯。
* 設定した通報先電話番号が正しいか確認。通報先電話番号については 15 ページを参照下さい。

ランプの点灯状態から見たとき

LP1 (黄)	LP2 (赤)	通報装置の状態
消灯	消灯	電話が切れている / 通報は全て完了している / 入力信号待ちの状態
点灯	消灯	電話をかけているとき (受話器を上げている状態)
低速点滅	消灯	リダイヤル待機中
高速点滅	消灯	サーバー側が話し中の時
点灯	高速点滅	一定時間 (30 秒間) 電話に出ず、通報装置が電話を切った後の 3 秒間
消灯	高速点滅	通報が正常に終わった後の 6 秒間
高速点滅	高速点滅	使われていない番号にかけたとき / 回線が繋がっていないとき

停電保証について

充電式電池が新品の場合で、完全充電されている状態では2時間以上動作します。停電保証時間は入力信号が全て警報解除の状態、通報を10回程度行った場合です。入力信号が警報状態や、センサー用電源を使用している場合は、その分電力を消費しますので、保証時間は短くなります。また、通報発信する回数によっても増減します。

停電保証充電電池

製品に付属の電池は、ニッケル水素充電電池です。

付属の電池はACアダプタが正しく接続され、商用電源が供給されているときは電源スイッチがOFFの状態でも充電しています。

※充電はトリクル充電方式により、過充電にならない程度に弱い充電を常時行っております。

※電気代はわずかですが、長期間にわたって通報装置として使用されないときはACアダプタをコンセントから抜いておかれることをお勧めします。

※停電保証が不要な場合は、電池を取り外してください。

※電池の交換によって、設定内容が消去する事はありません。

電池は2年以上使用可能です。手動で、停電状態（ACアダプタのプラグを抜いた状態）にした時に、停電保証が必要な時間内にPOWER（緑）が極端に暗くなるようでしたら交換が必要です。

ACアダプタから電源を供給せずに、本体電源ONにしてご使用される場合や、停電が長引いて電池の電圧が完全に無くなった時は、完全充電までに72時間以上かかることがあります。

電池の交換をするときは、ケース裏面の電池蓋をスライドさせて蓋をはずしてください。

交換する電池は、必ず **ニッケル水素充電電池 006P 9V型 250mAh以上** をご使用下さい。

※アルカリ乾電池をつなげますと火災の原因となります。爆発するおそれもありますのでご使用は絶対にお止め下さい。



電池蓋を外すときは、ケースの裏にある電池フタを指で押しながらかすライドさせます。

Q&A 困ったときにご覧下さい

一般的なご質問.....	27
通報と設定についてのご質問.....	29
メール送信システムについてのご質問.....	30

一般的なご質問

Q. 接続出来る一般回線とは

A. 使用出来るのは、NTT仕様で2線式のプッシュ回線またはダイヤル回線です。
NTT準拠のアナログポートにつなげて下さい。

例えば ISDN回線・ADSL回線・ひかり電話・IP電話・PBX

* それぞれ専用の信号変換機器やモデム又はターミナルアダプタのアナログポートに接続します。

注) モデムやターミナルアダプタなど、ルーター経由での動作保証は致しかねます。

使用出来ない回線は携帯電話機・PHS・ビジネスホン・ホームテレホン・4線式電話機・専用線です。

Q. ISDN回線を使用できますか

A. ISDN回線に直接接続することは出来ません。ターミナルアダプタのアナログポートに接続して下さい。

Q. 内線発信に対応していますか

A. 対応しています。「PBX (内線交換機) での使用について」10ページをご覧ください。

Q. 1本の電話回線で電話機とWL110A17を使用できますか

A. 接続は可能ですが、通報中に電話機側の使用は出来ません。接続方法は動作確認16ページを参照下さい。

Q. 取り付けは素人でも出来ますか

A. 侵入通報の用途で、ドアセンサーなどを接続する場合は簡単に取り付けできます。制御盤などに取り付けるときは、電気工事業者にご相談ください。

Q. 屋外に設置したい

A. 製品は、防水暴雨仕様ではありません。水滴や、雨、粉塵等に晒される場所では適当なケースに組み込んでください。

Q. 200V用の製品はありますか

A. 付属のスイッチング式 AC アダプタは、200V 対応品となっております。

Q. 装置を取り付けるところに電源がありません

A. 充電された自動車用バッテリーを使うことで長期間の連続利用が可能です。その際には、オプション品の『DC/AC インバータ』をご使用下さい。

Q. どの位の大きさですか

A. ケーブルや突起部分を除いて、横 135×縦 76× 厚み 35 (mm) です。

Q. 業務用に使った場合に問題はありませんか

A. まったく問題ありません。

Q. 保証はありますか

A. はい、ご購入後1年間です。

Q. 装置の寿命はどれくらいですか

A. 故障するケースで最も多いと考えられるのは電話回線や電源からカミナリが入る場合ですが、これはモデム通信装置などでも同様です。防止策としては業務用の回線用避雷器や電源避雷器を組み込むことで改善されます。期待寿命は5年です。機器には寿命のある部品が使用されています。これらの電子部品は、一般の電気機器と同様に時間経過とともに劣化・磨耗していくため予防保全の観点から定期的な交換を行うことが必要です。これは機器の機能・性能を保証するものではありません。適切に定期点検が実施され、機器の設置環境に支障がない場合です。

Q. 付属の充電電池はどれくらいの期間使用できますか

A. 使用頻度によりますが、2年以上使用できます。

【交換時期の確認方法】

本体の電源が入っている状態で、停電状態 (AC アダプタのプラグを抜いた状態) にします。停電保証が必要な時間内に、POWER (緑) が極端に暗くなるようでしたら電池の交換が必要です。

Q. 1つの入力接点に2つのセンサーを接続できますか

A. 可能です。

Q. 付属されたACアダプタとは別のACアダプタを使用したい

A. 付属品以外のACアダプタを使用されますと動作保証外となりますのでおやめください。

Q. 入力LEDが点灯しません

A. COMと入力1(又は2~4)を短絡させて下さい。+5Vと入力1を短絡させても点灯しません。端子台とケースの印刷を確認してください。

Q. 2秒間の無電圧接点出力のあるパッシブセンサーを使用できますか

A. できます。700ミリ秒以上(初期値)の間継続して短絡(または開放)状態の時に、入力変化があったとみなし通報します。この時間は設定で変更可能です。

Q. 無電圧接点を10mくらいの線を入力させても問題ありませんか

A. 問題ありません。50mまでであれば、0.75mm²以上の線で雷対策(埋設)を行えばご使用頂けます。誘導雷の混入を防ぐ為に必ず埋設して下さい。

通報と設定についてのご質問

Q. 設定を行いましたが発報がきません

- A. ・メール送信システムのご登録はお済みでしょうか。弊社ホームページからユーザー登録シートをダウンロード頂き、ご登録を行って下さい。
- ・ビジネスホン回線、ホームテレホン回線、4線式電話回線に接続することは出来ません。ビジネスホン回線、ホームテレホン回線に接続されますと必要以上の電流が流れてWL110A17が故障してしまいます。一度でも繋いで通報動作を行ったのであれば、故障している可能性があります。
- ・内線交換機をご使用の場合、機種によっては電話をかける場合特殊な番号、たとえば「#9」などを最初にダイヤルしないとかからないものもあります。ご確認ください。
- ・ダイヤル種別の初期値は「トーン」になっています。接続の回線が「パルス」の場合、設定の「ダイヤル種別」で「パルス」を設定してください。
- ・モジュラーコードが10m以上になる場合は、配線用コード0.4mmをご使用下さい。モジュラーコードでは、抵抗値が高くなる為に正常動作しない恐れがあります。
- ・受信端末側でwhitelock★adocon.co.jp(★を@に変えて)からの受信許可設定を行って下さい。

Q. PBX（内線交換機）に接続しましたが通報がきません

- A. ・交換機の仕様をご確認下さい。仕様が異なりますと、正常に動作しません。10ページを参照下さい。
- ・ダイヤル種別の初期値は「トーン」になっています。接続の回線が「パルス」の場合、設定の「ダイヤル種別」で「パルス」を設定してください。
- ・外線発信番号を通報先電話番号の前に入れて下さい。設定は15ページを参照下さい。

Q. 入力接点毎に異なる通報先を指定できますか

- A. できません。

Q. 定期通報の時間がずれてきます

- A. WL110A17にはタイマーが内蔵されていませんので、どうしてもずれが生じます。電源を入れた時から時間をカウントしますので、定期的に電源を入り切り（電源を切ってから3秒以上待ってから電源を入れて下さい）すると、ずれが少なくなります。

Q. 1回の通報に要する時間はどれくらいですか

- A. 1つの通報についての通話時間は28秒以下です。

Q. 設定内容を確認する方法はありますか

- A. 設定した内容を確認する事は出来ません。実際に動作させて確認して下さい。
※設定した内容を36ページの「設定内容一覧表」に記載しておくとう便利です。

Q. 電池を外すと設定内容が消去しますか

- A. 電池を外しても、設定内容は消去しません。

Q. 誤動作などで電話代が多く請求されるようなことはありませんか

- A. リダイヤル回数も設定できますので安心です。

Q. 停電保証時間を超えてから復電した場合に復電通報を行いますか

- A. 行いません。停電保証時間を超えてから復電した場合、電源を入れ直した時と同じ状態です。

Q. 停電通報だけ通報しません

- A. 停電保証充電電池の充電が不十分な場合、ACアダプタを抜くとPOWER(緑)が点灯しても電話をかけることができません。出荷時には付属の停電保証充電電池には充電が十分されていませんので、本体を72時間通電させてください。停電保証充電電池の充電を十分に行ってから、停電通報させてみてください。

Q. 停電通報がきていないのに復電通報だけきました

- A. 使用している電話回線は停電時にも使用できる回線でしょうか。交換機やルーター、TA(ターミナルアダプタ)などに接続している場合、それらの機器が停電時に使用できなくなれば電話回線も使用できなくなるため、リダイヤル回数を設定していると、停電通報が来ない現象が発生します。

メール送信システムについてのご質問

Q. メール送信システムとは

- A. WhiteLock から E メール通報を可能にする有料システムです。ご購入より 1 年間は無料でシステムをご利用いただけます。

Q. 登録料が必要ですか

- A. 登録料は無料です。ただし、通報時の通話料金（弊社サーバーまでの料金）はお客様負担となります。日本国内（離島を除く）から通報する場合は、1 つの通報について 10 円程度かかります。

Q. どんな回線でも使用できますか

- A. 一般回線であれば、ご使用頂けます。中には、システムをご使用頂けない回線がございますのでご了承下さい。NTT の「ひかり電話（光 IP 電話）」に接続されている場合、こちらのシステムへの通報は出来ません。

注）モデムやターミナルアダプタなど、ルーター経由での動作保証は致しかねます。

Q. 使用出来ない回線がありますか

- A. NTT の「ひかり電話（光 IP 電話）」に接続されている場合、こちらのシステムへの通報は、出来ません。すべての回線でテストを行っていません。最新の情報は、ホームページでご確認下さい。

Q. どんなメールアドレスでも登録できますか

- A. RFC 準拠であれば、ご登録頂けます。

※下記のようなメールアドレスは、登録出来ません。

- ・ピリオド『.』が連続で入っているメールアドレス
- ・ピリオド『.』が『@』の直前に入っているメールアドレス
- ・ピリオド『.』やハイフン『-』で始まるメールアドレス

Q. 通報先へ E メールが届きません

- A. 1. ユーザー登録はお済みでしょうか。弊社ホームページより登録シートをダウンロード頂き、登録を行って下さい。
 2. ユーザー登録の「接続する電話番号」とは異なる回線に接続していませんか。または、発信番号が複数ある電話回線ではないでしょうか。登録された「接続する電話番号」に接続してご使用下さい。
 3. 設定した通報先電話番号が正しいか確認して下さい。通報先電話番号については 15 ページを参照下さい。
 4. メールを受信される側で、パソコンからのメール受信を拒否もしくは迷惑メール拒否をされていないか確認して下さい。弊社のメール通報システムは、専用サーバーから LAN を通して光ケーブルで高速配信している為、送信元はパソコンと同じ扱いになります。

whitelock★adocon.co.jp（★を@に変えて）からの受信許可設定を行って下さい。

Q. 登録後に内容を変更できますか

- A. 可能です。ご登録が完了しますと、ご担当者様へ登録完了メールが届きます。この時に、添付される登録シートを使って変更頂けます。ご登録時と同じように、メールに添付して下さい。電話回線を変更される場合は「接続する電話番号」を変更して下さい。

仕様

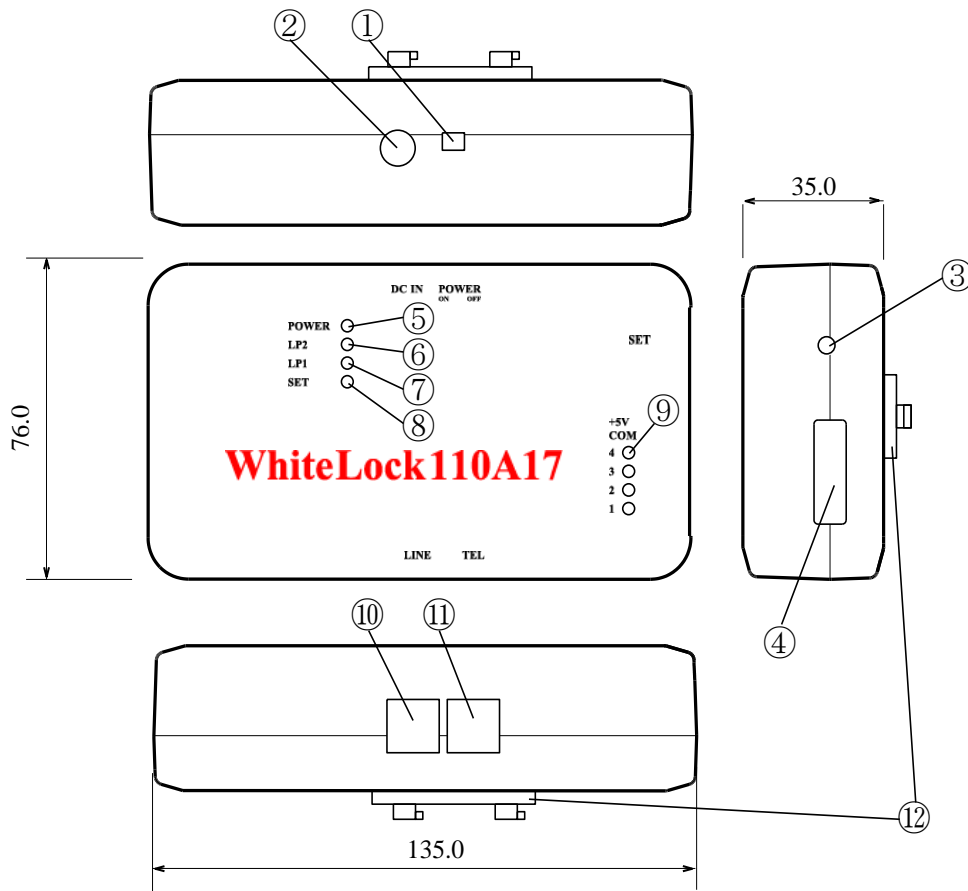
「WhiteLock110A17」 本体

対応方式	DTMF呼出方式非常通報装置
適用回線	NTT仕様で2線式のプッシュ回線、パルスダイヤル回線(20PPS) PBX(2線式外線発信回線)、ISDN回線ならTAのアナログポート
回線接続方式	通信コネクタ(モジュージャック)
動作設定	電話機を本体に接続しトーン信号にて設定
信号入力点数	4点(無電圧接点またはオープンコレクタ)
通報先メールアドレス	最大30ヵ所(RFC準拠に限る)
停電復電検出機能	本体内部に停電復電検出機能搭載
自動発信	入力変化
通報手段	Eメール通報(メール送信システム利用)
話し中検知機能	あり(話し中の場合はリダイヤル)
停電保証	停電保証充電池により2時間以上
電源	ACアダプタ AC100-240V 50/60Hz 5W
動作温度範囲	0°C~40°C
動作湿度範囲	15%~80%(結露なきこと)
周囲環境	腐食性ガスなきこと。 粉塵等汚れの激しい場所での使用は、カバー等で保護して下さい。
停電保証充電池	ニッケル水素充電池 006P型 9V 250mAh
寸法(mm)	135(W) × 76(H) × 35(D)
重量	約 230g 電池込みの本体重量
動作電圧	9.5V~10.0V
消費電流	50mA(最大110mA)

本体を清掃するときは

本体のよごれは、やわらかい布に水または中性洗剤を含ませて軽く拭いてください。
ベンジン、シンナーなど(揮発性のもの)や薬品を用いて拭いたりしますと、有害なガスが発生したり、変形や変色の原因になることがあります。

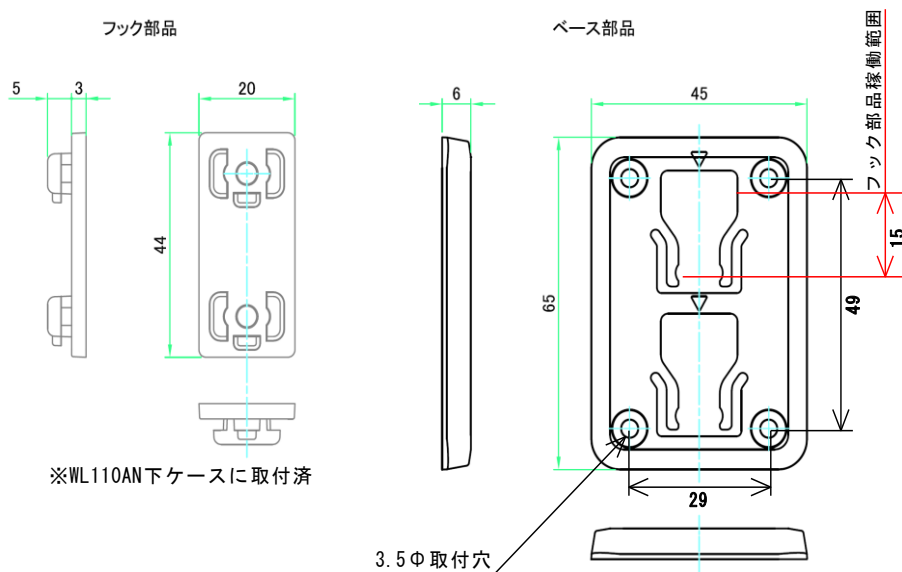
外形図



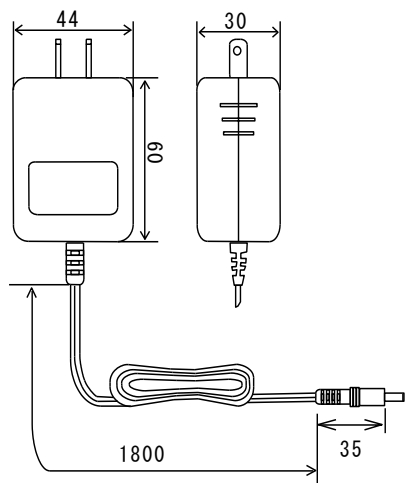
1	電源スイッチ	7	動作ランプ LP1
2	電源直流入力コネクタ	8	SETランプ
3	SETスイッチ	9	外部信号入力モニターランプ
4	外部信号入力端子	10	電話回線モジュージャック
5	電源ランプ	11	設定用モジュージャック
6	動作ランプ LP2	12	壁掛けブラケット

壁掛けブラケット外形図

フック部分は、WL110A17 下ケースに取付済みです。ベース部分にフック部品を引掛ける際の方向性があります。ベース部品を設置する際には、方向と稼働範囲にご注意下さい。



ACアダプタ外形図



バージョン

WL110A17	取扱説明書	日付
Ver1.00	Ver1.00	2017/09/14

更新履歴

2017/09/14

Ver1.00

- ・ WhiteLock110A17 を作成

付録

設定内容一覧表

通報装置に設定した内容を記入し、動作確認時や使用時の控えとして使用します。
設定した内容にチェックを入れます。

設定内容	初期設定	設定した内容	
回線自動判定	しない	<input type="checkbox"/> する	<input type="checkbox"/> しない
全解除呼出	しない	<input type="checkbox"/> する	<input type="checkbox"/> しない
停電(復電)時に通報	しない	<input type="checkbox"/> する	<input type="checkbox"/> しない
個別解除呼出	する	<input type="checkbox"/> する	<input type="checkbox"/> しない
ダイヤル種別	トーン	<input type="checkbox"/> トーン	<input type="checkbox"/> パルス
通報開始時に電話機を切断	する	<input type="checkbox"/> する	<input type="checkbox"/> しない
起動時 60 秒間信号を無視	しない	<input type="checkbox"/> する	<input type="checkbox"/> しない
定期通報	しない	<input type="checkbox"/> する	<input type="checkbox"/> しない
接点入力の仕様 入力 1	a 接点	<input type="checkbox"/> a 接点	<input type="checkbox"/> b 接点
接点入力の仕様 入力 2	a 接点	<input type="checkbox"/> a 接点	<input type="checkbox"/> b 接点
接点入力の仕様 入力 3	a 接点	<input type="checkbox"/> a 接点	<input type="checkbox"/> b 接点
接点入力の仕様 入力 4	a 接点	<input type="checkbox"/> a 接点	<input type="checkbox"/> b 接点
リダイヤル回数制限	制限無し	<input type="checkbox"/> 制限なし	<input type="checkbox"/> 回
通報先電話番号	18605055025281		
入力 1 判定時間	700 ミリ秒	<input type="checkbox"/> 700 ミリ秒	<input type="checkbox"/> ミリ秒
入力 2 判定時間	700 ミリ秒	<input type="checkbox"/> 700 ミリ秒	<input type="checkbox"/> ミリ秒
入力 3 判定時間	700 ミリ秒	<input type="checkbox"/> 700 ミリ秒	<input type="checkbox"/> ミリ秒
入力 4 判定時間	700 ミリ秒	<input type="checkbox"/> 700 ミリ秒	<input type="checkbox"/> ミリ秒
停電判定時間	700 ミリ秒	<input type="checkbox"/> 700 ミリ秒	<input type="checkbox"/> ミリ秒
定期通報の時間間隔	24 時間	<input type="checkbox"/> 24 時間	<input type="checkbox"/> 時間

索引

A	こ	な
AC アダプタ 16, 22, 33	個別解除呼出 18	内線交換機 10
ADSL 回線 7	し	に
I	初期設定 12, 13	ニッケル水素充電池 25
IP 電話 7	信号入力部 23	入力信号 15
ISDN 回線 7	せ	ひ
P	清掃 31	ビジネスホン回線 1, 7
PBX 10	接点仕様 14	ふ
R	全解除通報 18, 19	プッシュ回線 1, 7
RFC 準拠 30	センサー用電源 22	ほ
S	た	ホームテレホン回線 1, 7
SDT 10	ターミナルアダプタ 1	め
SET ボタン 24	第2ダイヤルトーン 10	メール送信システム 7, 30
か	ダイヤル回線 1, 7	り
解除呼出 18	端子台 22	リダイヤル 15, 20
壁掛けブラケット 21, 33	て	る
き	定期通報 14, 19	ルーター 1
共通端子 16, 21	停電保証 25	
け	電話回線 7	
警報発生 17	と	
	動作モニタ 24	
	トーン信号 12	

WhiteLock110A17

取扱説明書

Ver 1.00

2017年09月

発行元 株式会社アドコン

<http://www.adocon.jp>

〒690-2101 島根県松江市八雲町日吉 3-24

TEL (0852) 54-2036 FAX (0852) 54-2196